

広報

# ふじ

NO. 186

発行・富士市役所  
富士市永田61-1

編集・  
企画調整部広報広聴課  
【毎月5日と25日発行】

50.8.5 発行



七月三十一日から市長の管内行政視察（市内八十カ所をくまなく視察）

# 健康保険 国民健康保険などで歯科治療を

歯は私達の健康に深い関係をもっていますので、常に歯の衛生に気をつけなければなりません。歯や歯ぐきの病気になったら一日も早く治療することが必要です。

歯や歯ぐきの病気になった場合、健康保険・国民健康保険などでは、保険を扱っている歯科医院の窓口で保険証を提出すれば、通常必要とする治療はできるようになっています。

しかし、健康診断や虫歯の予防などは保険ではできませんので気をつけてください。また、金や白金などを使用した治療を希望される方には、慣行料金と健康保険で給付される額の差額を負担していただくことにより、これらの治療を受けることができる差額負担治療の制度も認められています。

以上が保険における歯科治療のあらましですが、それぞれもう少し詳しく説明いたします。

## 保険でできる治療

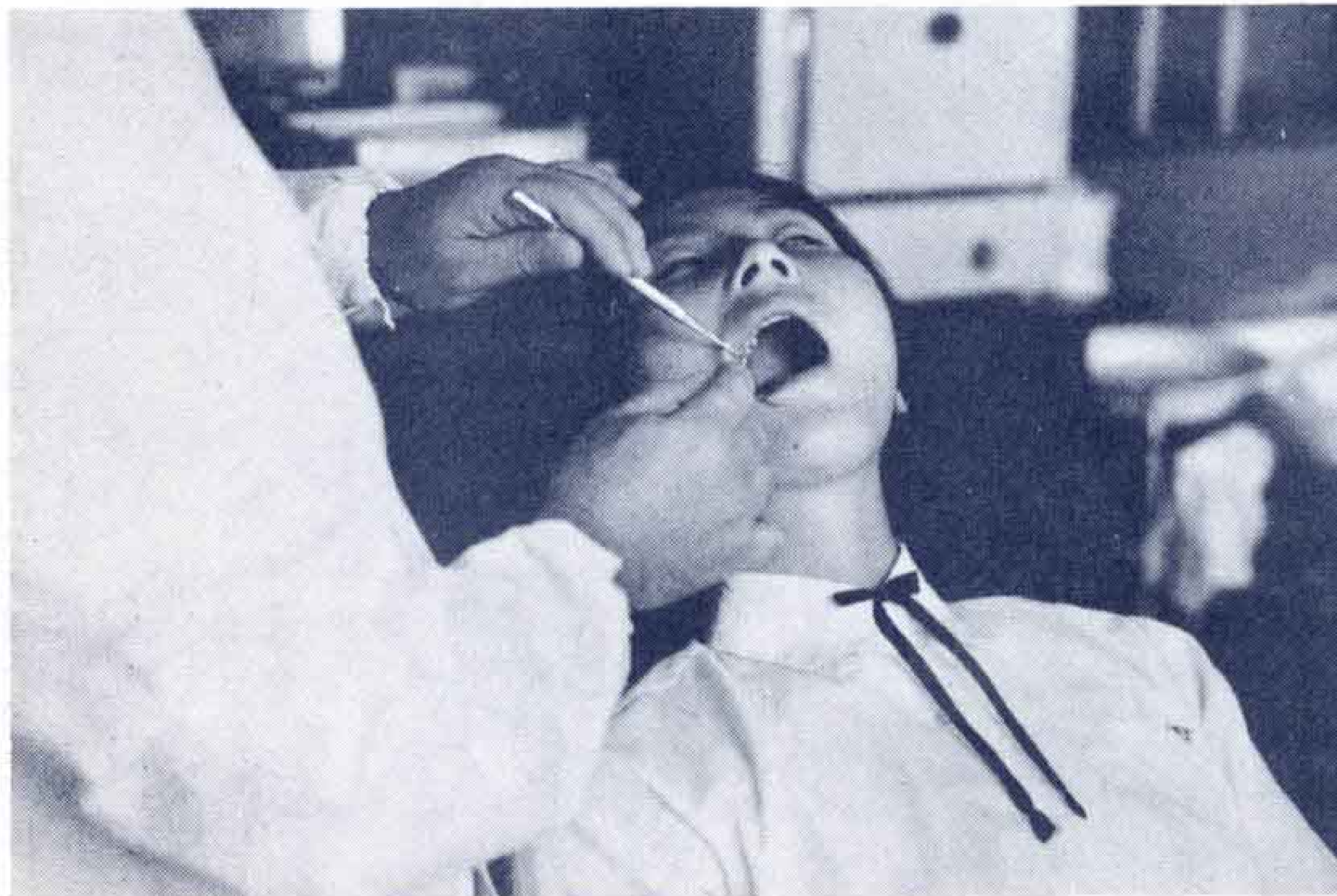
歯や歯ぐきが病気になった場合、診察、検査、レントゲン診断、投薬注射、処置及び手術、歯冠修復（歯

の悪くなった部分を削りその部分につめたり、かぶせたりして歯を元どおりにすることをいいます。）、欠損補綴（歯の抜けたところに入れ歯などを入れることをいいます。）な

ど通常必要とする治療は、全部保険でできます。

この場合の患者の負担額は、次のものです。

- ①健康保険、船員保険、各種共済組合の被保険者である患者の場合は200円（初診時一部負担金です）（入院された場合は別です）
- ②日雇労働者健康保険の被保険者である患者の場合は100円（初診時一部負担金です）
- ③健康保険、船員保険、日雇労働者健康保険、各種共済組合の被扶養者である患者と、国民健康保険の被保険者である患者の場合は、保険で行った治療費の3割（国民健康保険組合の被保険者である患者の場合は負担額が違ふときがあります。）



## 保険でできない治療

保険は、疾病負傷に対し、給付を行うものですから、次のような事例については給付できないことになっています。

- ①健康診断
- ②歯並びをそろえる治療や美容を目的とするもの
- ③虫歯の予防（歯にフッ素を塗布する方法など）。

保険では通常必要とする治療を受けられることは前に述べたとおりですが、それに要する費用はみなさんが納めている保険料によってまかなわれることになっていますので、経済面も考慮しながら、常に医学医術の進歩を取り入れた治療を行っていかねばなりません。

## 差額負担治療

ところで、患者の中には、金や白金、特殊な材料を使用した治療等を望まれる方もあります。このような方のために慣行料金から保険で給付される額を差し引いた額を負担することによって治療が受けられる制度を設けています。これを差額負担治療といいます。

# 受ける方へ

## 差額負担治療の範囲

差額負担治療は、患者が希望する場合であって、次のような事例に該当する時に行うこととされています。

- ①金合金、白金加金、特別製の陶材を使用して、つめたり、かぶせたり、入歯を入れたりする場合
- ②床の部分金属で作った入れ歯を入れる場合
- ③欠損歯が3歯以上のブリッジを入れる場合（ブリッジは、歯の欠損部分があるとき、その両隣の歯を支えとして、川に橋をかけるの

と似た方法で元どおり治すことをいいます)

### 差額負担治療を受ける場合の心得

差額負担治療を受ける場合には、どのような材料を用い、どのような治療を受けるのか、どの程度の費用の負担をすることになるのか等について歯科医師と十分話し合うことが肝要です。

歯科医院の待合室には、厚生省と

日本歯科医師会が共同で作成した差額負担治療に関するポスターと慣行料金の表が掲示されることになっています。また、歯科医師は、患者に対し、事前に差額負担治療の内容、料金等を明確かつ懇切に説明することになっていますので、その説明をよく聞いて納得したうえで治療を受けてください。

また、歯科医師は、患者さんの求めに応じ、差額負担治療費に係る領収書を発行することになっていますので、必要な場合は申し出てください。なお、差額負担治療を希望した場合には、歯科医師から同意書に署名を求められることもありますのでその場合には、文面をよく読んで理解したうえで署名してください。

# 丈夫な歯が健康なからだを

日本の3才児は、190人のうち87人に虫歯があるそうです。さらに5才児になると97人にもなり、しかもこのうちの半分はひとりで10本以上の虫歯があります。子供の虫歯の原因は、妊娠中お母さんが栄養を充分とらなかったり、歯みがきの習慣がない乳児時代に甘い物ばかり食べたりすることなどが上げられます。

お子さんが歯が痛いと言ってきたら、あれこれさわぐより虫歯にならないよう注意してやることです。一般に乳歯が虫歯になってもじきにはえ変わるからほっておこう、永

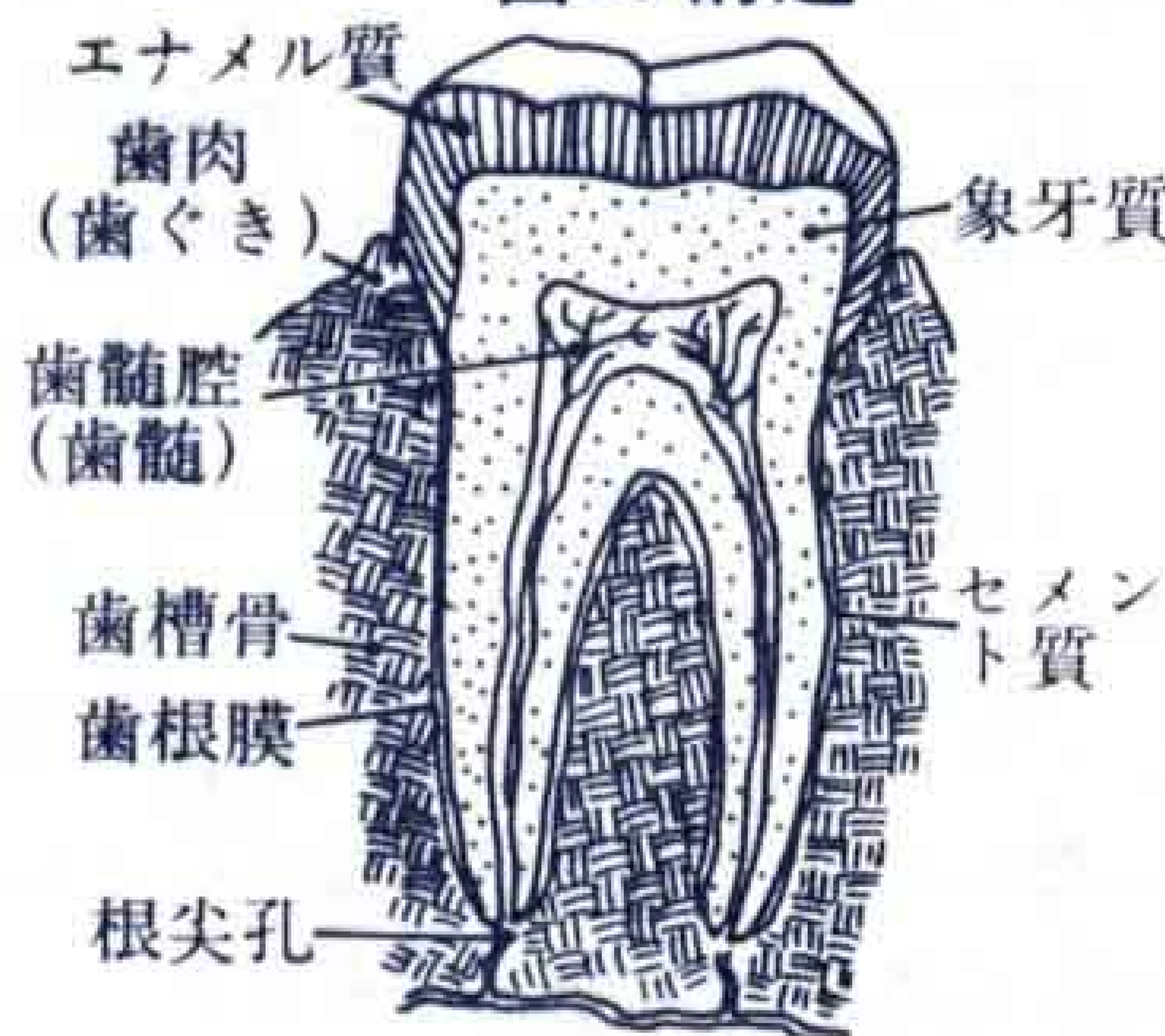


久歯だけ大事にすればいいという考えがあります。しかしこれは大まちがい

です。乳歯はじきはえ変わると言いますが、意外に長く使います。乳歯が全部はえ変わるのが12才ごろですから、10年以上使う歯もあります。また、ひどい虫歯になった乳歯のあとは、虫歯になりやすい弱い歯がはえてきがちだということです。

歯科医で虫歯をなおしたといっても、虫歯をもとの健康な歯に戻したという意味ではありません。悪い部分を取り除いて、別のもので埋め、進行を止めただけです。虫歯ができると、いっときたいへん痛みますがそのままにしておくと痛みがなくなります。これは歯髓の炎症で神経が死んでしまうためです。さらに根のほうへ進んで、歯根の先や歯肉にうみがたまります。このうみの中のバイ菌や毒素が血管、リンパ管を通過して体の中をめぐり、関節炎腎臓病、耳、鼻、目、呼吸器などの病気を起こすこともあります。原因がはっきりしない病気にかかったら歯を治療

歯の構造



してみなさいといわれるほどです。それでは虫歯の予防と歯みがきについて考えてみましょう。

子供たちは、チョコレートやキャラメル、菓子パンなど甘い物が大好きですから、できれば歯みがきの習慣がつくようになるまで遠ざけておくこともひとつです。また、急に歯みがきをさせようと思ってもなかなかできませんから、親が手本を示しながらすこしづつなれさせて習慣づけることです。ひざに寝かせゴシゴシみがいてやっても、そのうちにひとりでやるようになります。

# 131工場の排水処理施設を総点検

最近、岳南排水路の自動水質監視装置が、特定の時間帯になると高濃度に汚濁した排水を検知しています。このため、原因を調べるとともに、排水の監視を強化し、今後の違反を防ぐため、「工場排水付帯施設調査」を7月28日から31日までの4日間にわたって131工場で行いました。

## 計測器やデータ管理の悪い工場が全体の15パーセント

岳南排水路には、富士地区の製紙工場など134工場から汚水が排水されています。これらの工場の排水処理施設のチェックは48年6年に実施しましたが、この時は違反工場が多数摘発され、県が操業停止や改善命令を行いました。また、49年9月に岳南排水路の管路ごとに濁度計を設置し、常時監視をできるようにしました。この間工場、事業所の立入検査を毎月行っていますが、49年度は県で延224工場、市が工場パトロールで延1079工場について調査しました。このように工場排水の監視を強化したことや排水基準の強化などにもなっており、排水施設なども徐々に改善されてきました。

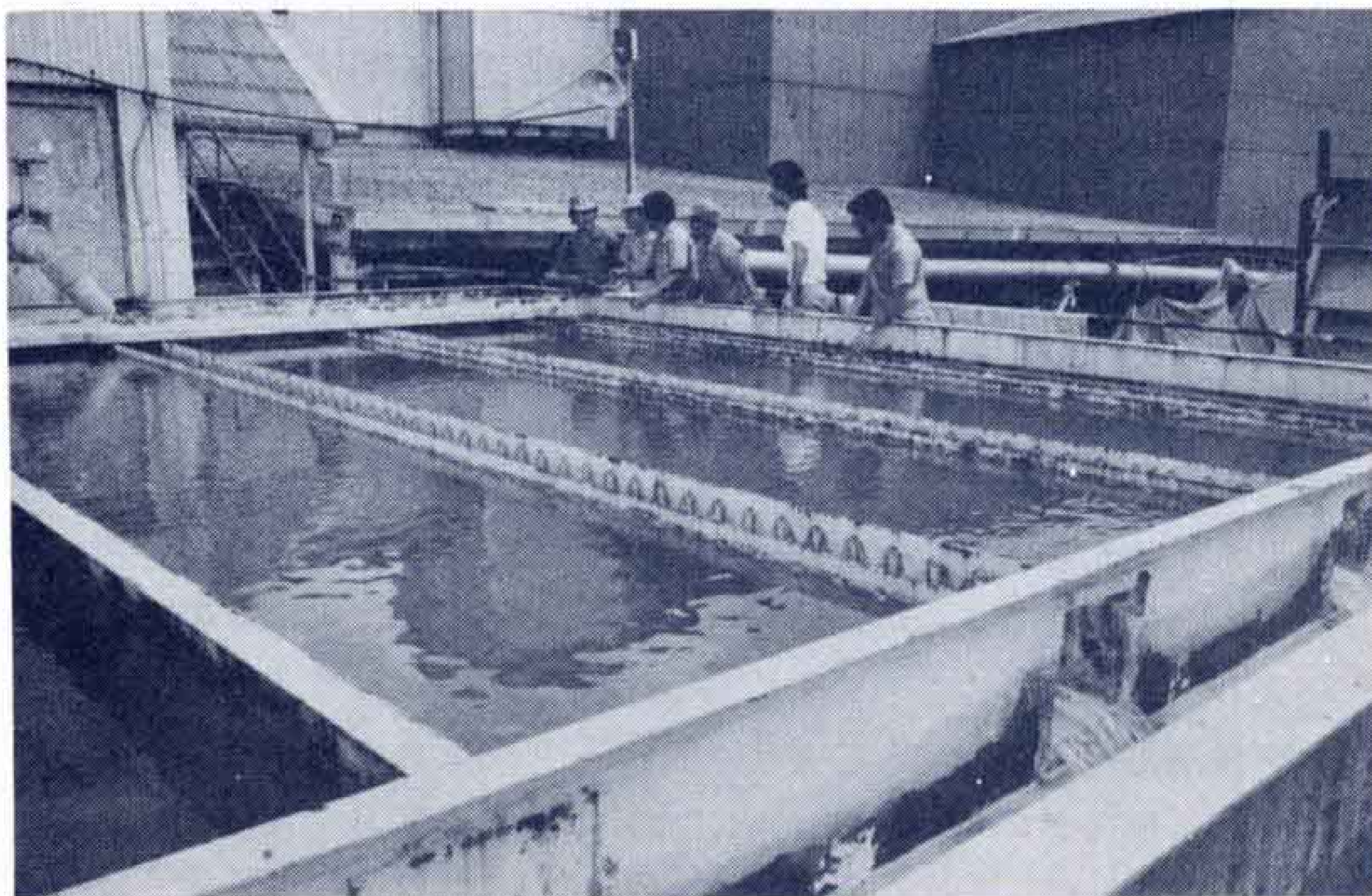
ところが最近、岳南排水路に設置してある自動水質監視装置が、午前4時～8時、午後3時～6時、8時～12時の時間帯に高濃度に汚濁した排水を再三検知しています。このため

高濃度汚濁の原因を調べるとともに排水の監視を行うため、市公害課を中心に清掃管理課、富士宮市公害対策課、岳南排水路管理組合、紙業協会自主監視委員会が、富士地区の131工場の立入調査を行いました。

調査は、排水処理施設、排水監視施設、排水基本管理の3項目で、4人

が1組となり4班で行いました。

この結果、排水施設の不備はほとんどなく、ひとつおりの施設は完備されていました。しかし、流量計や濁度計など計測器の管理やデータの管理が悪い工場が全体の15%ほどありました。また、緊急時（停電・不慮の事故）に未処理水が流出する恐れのあるものもみられ、違反予想水質に対応する連続測定計器の設置などとともに、今後一層の改善努力が必要となっています。



夏の交通事故死をなくす県民運動—8月31日まで—

急ぐほど減らす燃料 増す危険

老人と子どもを交通事故から守ろう

# 県立普通科高校誘致で県に陳情

富士地区に県立普通科高校を誘致するため、富士市、富士宮市、芝川町の2市1町で「県立普通科高等学校建設促進期成同盟会」を設立したことを前号(NO183)でお知らせしましたが、読んでいただけましたか—

富士地区の高校進学志望者は増加する一方ですが、定員ははるかに下回り、特に普通科にこの傾向が見られています。このため、県立普通科高校の誘致を1日も早く実現しなければなりません。

早期建設をと強く訴えました。

なお、期成同盟会は、9月県議会にむけて再び陳情を行うため署名を募るとともに、用地の選定など建設促進に必要な調査を実施していきます。



【渡辺市長を先頭に県へ陳情】

そこで、期成同盟会では、会長の渡辺市長をはじめ関係者20人が7月26日県庁を訪れ、知事、教育長、県議会議長などに陳情を行いました。席上、渡辺市長は富士地区としては用地を確保する心がまえでいるので

## 署名にご協力を

市民みなさんの強い団結で、富士地区に県立普通科高校の建設を進めるため、静岡県に陳情を行います。そこでPTAが中心となつて署名をお願いに上がりますのでご協力ください。

# お母さん教室で

## ～妊娠・出産の正しい知識を～

はじめての妊娠はいろいろ心配な事ばかりかと思いますが、子どもを心身ともに健全に育てるためには、お母さんが妊娠、分娩、出産を通じ

て健康であることが第1です。

そこで、妊娠・出産に対する正しい知識と心がまえをもつために、市衛生課と富士保健所が毎月第2・3・4

火曜日と金曜日に「お母さん教室」を開いています。火曜日は吉原地区の人を対象に富士保健所、金曜日は富士・鷹岡地区の人を対象に富士公民館で行っています。時間は午後1時30分から3時30分までです。

なお、衛生課では、妊娠届を出した方のうち、はじめて妊娠した人にハガキを出して出席を呼びかけていますが、どなたでも受講できますので希望者は衛生課(51-0123 内線317・318)へ申込んでください。



## ＝お母さん教室＝

- 第1日目 ①映画 ②歯の衛生 ③妊娠中の保健
- 第2日目 ①産褥期の衛生・新生児の取扱い衣類について ②栄養講座(実演・指導)
- 第3日目 ①講話と質疑 ②安産のための補助動作 ③沐浴実習



水防団の川倉づくり



じゃかこ組立

# 備えあれば憂なし

地震だ！台風が来る！こんな時みなさんは何をしたらよいか、これまでの経験から色々浮んでくることと思います。なんととっても万一の場合に備え普段から心がまえをしておけば、災害におそわれても落ち着いた行動ができ、おおいに役立ちますね。

そこで、市民総ぐるみの防災対策を確立するため、富士市防災訓練を7月27日、瓜島地先の小潤井川と広見町で行いました。訓練には、水防団、消防団、広見町住民など3800人が参加し、避難、救助訓練など本番さながらでした。

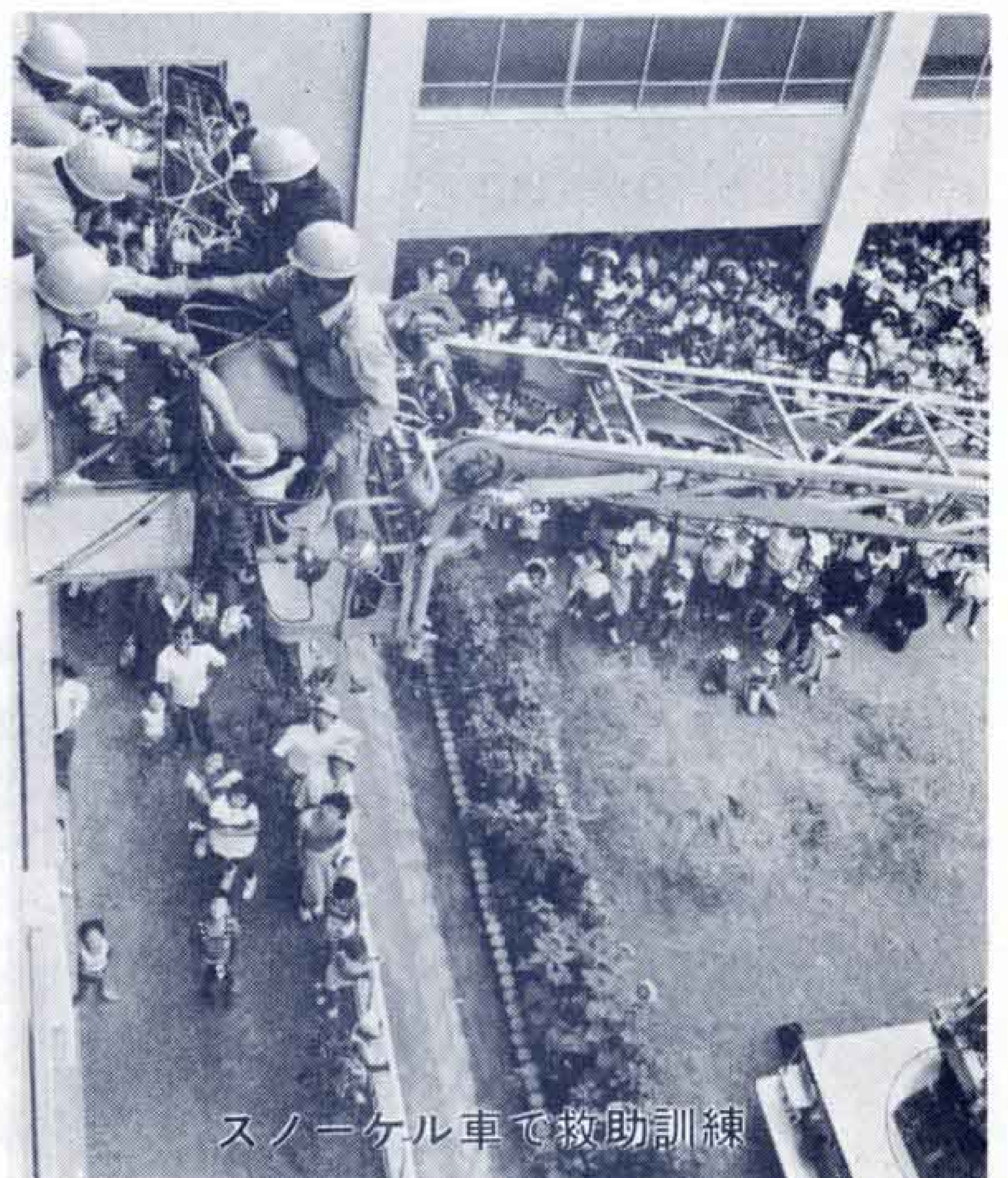
なお、今回の訓練に参加しなかったみなさんも地震や台風などの時、どんなことをしたらよいか家族で話し合って万一に備えてください。



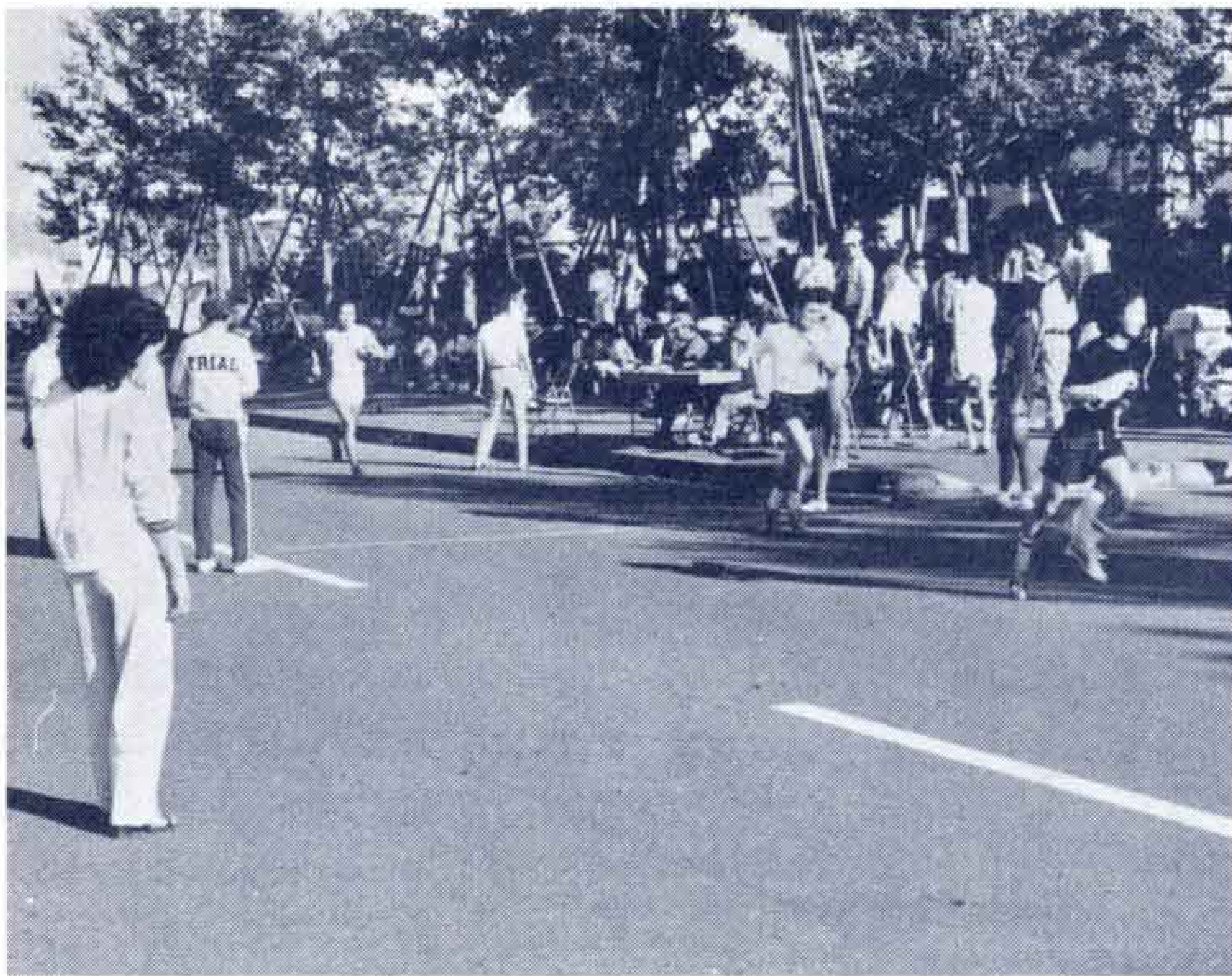
広見町住民の避難訓練



消火器による消火実験



スノーケル車で救助訓練

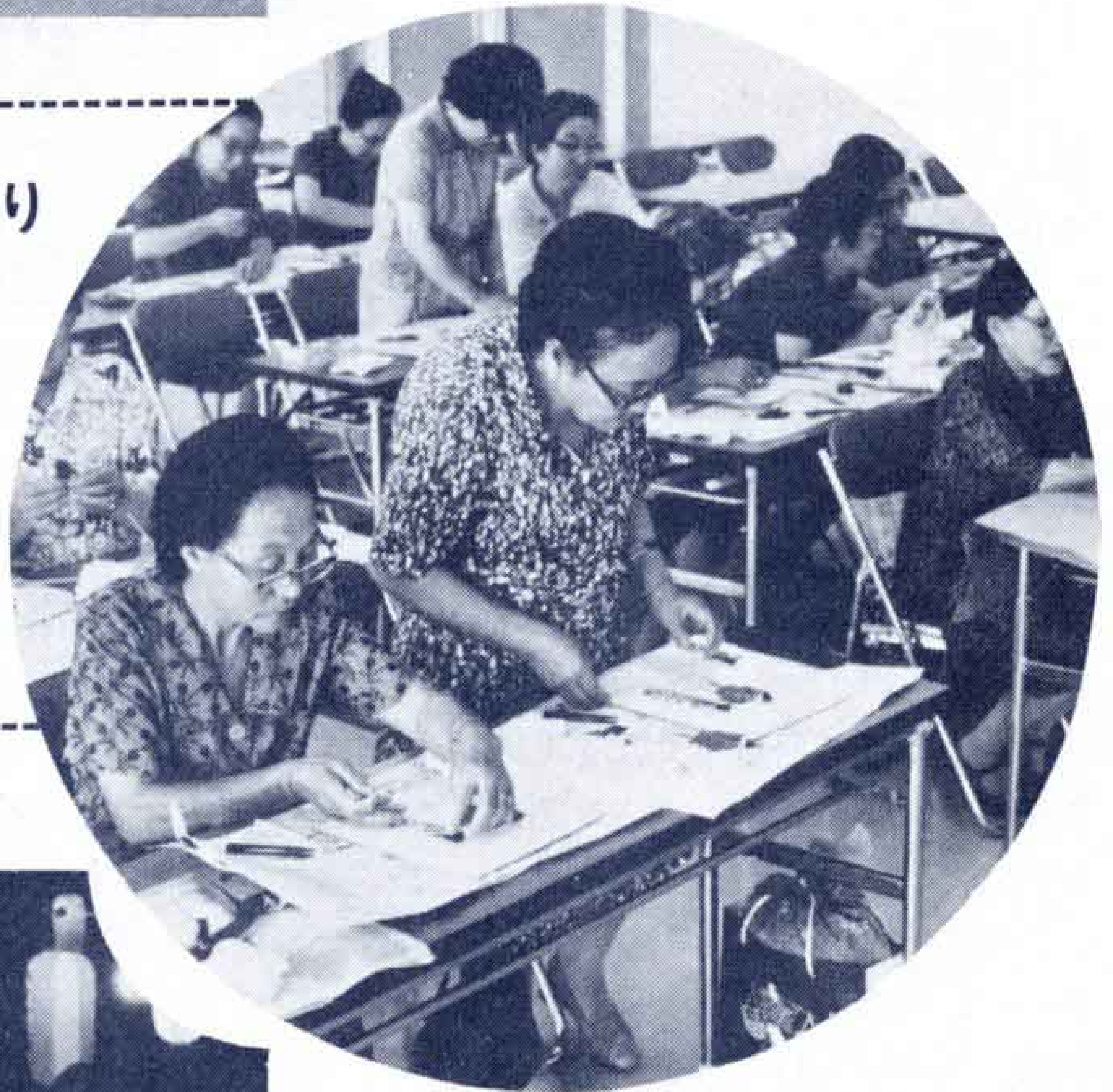


## 12時間リレーで旭化成が 225キロメートル

第1回富士市12時間リレー大会を7月26日の午後7時から市役所周辺で行いました。大昭和、富士アサマ会など10チームが参加して、市役所の回り700メートルを1人2周、10人が交替で走りました。この結果、全出場チームが12時間走りつづけ、旭化成が325周、225.787メートルで優勝しました。2位は大昭和217.565メートル、3位東芝富士206.963メートル、このほか、日本自動変速機、富士電報電話局、吉永クラブ、富士アサマ会、元吉原青年団伝法青年団、田子浦連合青年団の順です。

## 更生保護婦人会が愛の人形づくり

社会を明るくする運動を7月1日から1カ月間行いましたが、運動の一環として24日、更生保護婦人会員（池田かつ会長）20人が、愛の紙人形づくりをしました。なお、愛の人形は、手紙といっしょに、罪を犯した人たちの更生を助けるために贈られます。



## 3会場で納涼市政相談

市民みなさんの市政に対する意見や要望を聞く、納涼市政相談を7月22日から広見小、鷹岡公民館、岩松小の3会場で行いました。当日は渡辺市長をはじめ教育長、部課長が出席し、相談に訪れた人から直接話しを聞きました。

各会場には多数の方が訪れましたが、3日間に80件の相談ごとがありました。また相談ごとの内容も教育問題をはじめ、道路交通安全、環境問題など自分たちの生活に密接した問題がほとんどです。



# いけにえの淵

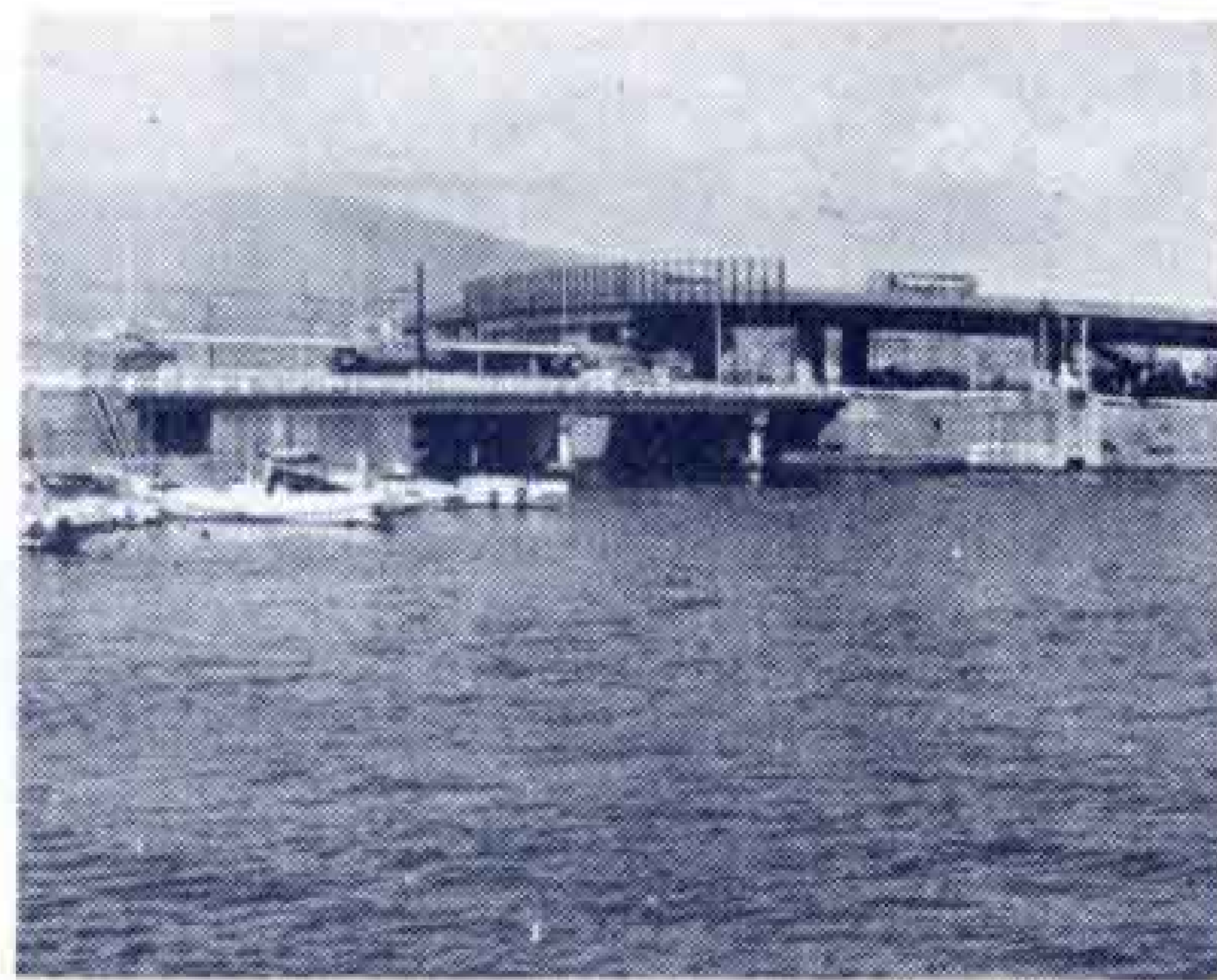
①

今から400年くらい前、鈴川の6つめがね橋ふきん<写真>にあったお話です。大昔から潤井川の川尻は沼川や和田川が落ち込んで、さんまたと呼ばれた青黒く深い淵を作っていました。

そこに一匹の大蛇(だいじゃ)が住んでいました。この大蛇は、大水を出したり暴風をおこして田畑を荒し、お百姓さん達を大変苦しめてい

ました。お百姓さん達は田畑を荒されないよう、毎年6月28日になると15~16才の少女をいけにえとして大蛇にやることにしていました。

今年も6月になって、みんな庄屋さんの家に集まり、だれをいけにえに選ぶか相談しましたが、いけにえになる少女はなかなか決まりません。いけにえをやらなかったら大蛇は大



あばれにあばれて、田も畑もひと押しに流してしまおうでしょう。そしたらみんなうえ死にしてしまいます。

いろいろ考えた末、みんなはお金を出しあって、いけにえになってくれる少女に小判千両を渡すという大きな立札を東海道の吉原宿に立てました。

立札のうわさはだんだん広まって尾張の熱田にも伝わりました。熱田にうねめというやさしい少女がいました。うねめのお父さんもお母さんも長いこと病気で寝ていました。うねめの家は貧乏でしたから、もう薬やお米を買うお金もありません。「千両あれば…私がいけにえになろう」うねめはそう決心しました。

(つづく)



## 中体連水泳大会で11の大会新が

中体連水泳大会を7月20日、吉原1中プールで開きました。市内の8中学校から真黒に日焼けした100人が参加し、21種目に水しぶきをあげました。

市内の水泳レベルも2~3年前からあがり、大会を開くごとに好記録が続出、この日も11の大会新記録が生

れました。この結果、男子では元吉原中、女子は吉原1中が総合優勝しました。

なお、今大会で上位6位までの入賞者は、8月2日から元吉原中で開かれた県東部水泳大会に富士市代表として出場しました。



伝法地区子ども会球技大会  
男子はソフトボール  
女子はキックベースボール

